

令和3年度(2021年度)全国学力・学習状況調査

調査問題の分析

本資料の見方

学習指導要領 注目ポイント

全面実施された学習指導要領(小学校:令和2年度～、中学校:令和3年度～)において、新たに追加された内容等に関わる点を示しています。

※今年度は主に小学校の調査問題が「学習指導要領の領域」「評価の観点」を含め、新学習指導要領に基づいて作成されています。

付けたい力の 明確化

問題や授業において「付けたい力(資質・能力)」を示しています。付けたい力を明確にした上で、そのために必要な学習活動や適切な支援・手立てを計画しましょう。



「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりについて、プロセスごとに示しています。



GIGAスクール構想による1人1台端末を活用した授業の有効性について示しています。「個別最適な学び」や「協働的な学び」のツールとして、ICTを活用しましょう。

小学校国語	2 ページ
小学校算数	8 ページ
中学校国語	14 ページ
中学校数学	20 ページ
児童生徒質問紙	24 ページ
学校質問紙	26 ページ

令和3年6月

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

小学校 国語

【全体を通して】

- ・学習指導要領（令和2年度から全面実施）の指導事項に即して問題が作成されており、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」が一体的に出題された。
- ・新たに加えられた指導事項について問われた。（大問1・大問2三・大問3一）
- ・漢字の書き取り、主語と述語の関係、新たに出題された修飾と被修飾の関係など、基本的な知識・技能を活用できるかが問われた。これらは、大問3の中の小問として一体的に出題された。
- ・大問1では、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、目的や意図を踏まえ自分の考えが伝わるように話したりする力が問われた。
- ・大問2では、説明的な文章を読んで文章全体の構成を捉え、目的に応じて中心となる語や文を見つけて要約したり、文章を図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりする力が問われた。
- ・大問3では、自分の考えを主張する文章を書く力が問われた。

学習指導要領
注目ポイント



付けたい力の
明確化

【読み解く力に関連する問題】

- 大問1 調べたことについて、資料を使ってスピーチをする（津田梅子の紹介）において、
 - ・興味をもった人物について調べ、本やインターネット等から必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
 - ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別することができるかどうかをみる。
- 大問2 説明的な文章を読んで、分かったことをまとめる（「面ファスナー」）において、
 - ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
 - ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけてまとめることができるかどうかをみる。

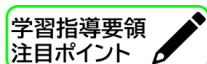


【指導改善のポイント】

- ☆育成を目指す資質・能力を明確にし、それを身に付けるのに合った言語活動や教材、単元を設定する。
 - 目的や意図に応じて、スピーチの構成を考えたり、自分の考えが伝わるように資料を活用して話したりする言語活動を設定している。その際、ICTを活用することで、より効果的な学びとなるよう工夫する。
 - 目的に応じて中心となる語や文を見つけて要約したり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりする言語活動を設定する。
- ☆言葉の特徴や使い方に関する事項を身に付けることができるよう指導する。
 - 作文指導等を通して主語、述語、修飾語をおさえ、正しい文章構成を認識できるように継続的に指導する。
 - 言語事項に関するガッテンプリント1201から1219を活用して復習をする。[1209（主語・述語）、1217①②（修飾語）]

○調査問題の一覧

問題番号	問題の概要	出題の意図	学習指導要領の領域等						評価の観点			問題形式			
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	
			(1)	(2)	(3)	A	B	C							
			に言葉に関する事項の特徴や使い方に	ずる情報の扱い方に	に我が国の言語文化	と話すこと・聞くこ	書くこと	読むこと							
①	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える				5・6イ				○		○			
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する				5・6ウ				○		○			
	津田梅子についての【スピーチ】の練習の□□□の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す				5・6ウ				○		○			
②	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する						5・6ア		○		○			
	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	5・6オ							○		○			
	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける						5・6ウ		○				○	
	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する						3・4ウ		○					○
③	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える						5・6イ		○		○			
	丸山さんの【文章の下書き】の□□□部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き直し方を工夫する						5・6ウ		○					○
	丸山さんの【文章の下書き】の中の□□□部アを、漢字を使って書き直す(ころがっている)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6エ							○			○		
	丸山さんの【文章の下書き】の中の□□□部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)		5・6エ							○				○	
	丸山さんの【文章の下書き】の中の□□□部エを、漢字を使って書き直す(げんいん)		5・6エ							○					○
	丸山さんの【文章の下書き】の中の□□□部イで、□□□部「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	3・4カ							○			○		
丸山さんの【文章の下書き】の中の□□□部オで、□□□部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	3・4カ							○			○			





資料を活用してスピーチの内容をわかりやすく伝えたい。どんな資料が効果的かな。

「スピーチ」

(資料①) を示す) みなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになり、津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

(資料②) を示す) 一つは、「女子英学塾」を設立したこと。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんどありませんでした。

(資料③) を示す) もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したこと。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかけつけていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

(資料④) を示す) この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思います。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることになったのだと思います。



上野さん

資料① 新五千円札の「顔」津田梅子(1864~1929年)

資料② 津田梅子の業績1 1900年 女子英学塾を設立

資料③ 津田梅子の業績2 女性の英語教師を育成

資料④ 教師になった卒業生の勤務校のある場所(1903~1912年)



津田さんの業績の素晴らしさを伝えたいから、業績の要点を文字で示すことで、聞き手にわかりやすく伝えよう。

- 津田さんが、「スピーチ」の練習で、(資料②)と(資料③)を使った理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 難しい言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらおうため。
- 自分の疑問点を示すことで、聞き手にもいっしょに考えてもらおうため。
- スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
- 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。

正答 4

地図を示してくれたけど、地図のどこに着目したらいいかわからなかったよ。

社会に出て活躍する女性を世の中に送りだしたことを伝えたいんだ。

地図の着目してほしいところを示し、その意味を付け加えて説明するよ。

資料④ 教師になった卒業生の勤務校のある場所(1903~1912年)

① 黒丸の印(●)の分布が示すように、教師になった卒業生は、一生懸命に学びました。

② 黒丸の印(●)の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域で働きました。

③ 黒丸の印(●)の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、各都府県に増えていきました。

④ 黒丸の印(●)の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務校は、一部の地域にかたよっていませんでした。

「スピーチの一部」

(資料④) を示す) この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

上野さん

正答 2

ICTの有効活用

音声は発せられた途端に消えていくため、話し言葉はそのままで振り返って内容を確認することができません。ICTを活用することで、話し手だけでなく、聞き手の様子をあとから客観的に捉えることができます。

調べたことについて、資料を使ってスピーチをする（津田梅子の紹介）

出題の趣旨

●話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように話したりすることができるかどうかをみる。



五千円札の「顔」になった津田梅子さんについて紹介したいな。津田さんの業績ってなんだろう。



①情報を取り出す
興味をもった人物について調べ、本やインターネット等から必要な情報を見付けることができる。



津田さんの素晴らしい業績を伝えたいな。「女子英学塾」を設立したことと、女性の英語教師を育成したことを伝えよう。

②情報を整理する

津田さんの業績の素晴らしさを伝えるために、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、スピーチの構成を考えることができる。



津田さんの業績の素晴らしさを伝えるための構成にしたいんだけど。アドバイスもらえるかな。



「中」で二つの業績と自分の感想の両方を話しているけど、業績の素晴らしさを伝えるために、「中」で二つの業績、「終わり」で自分の感想を話すことで、事実と感想を区別して話したらどうか。



なるほど！津田さんの業績の素晴らしさがより明確に伝わる構成になったよ。

③再構築する
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。



「スピーチメモ」

「はじめ」

○話題の提示 <資料①>

- ・新五千円札の「顔」
- ・津田さんの説明

「中」

○津田さんの業績

- ・業績1 <資料②>
- ・女子英学塾じょしえいがくじゅくを設立
- ・業績2 <資料③>、④
- ・女性の英語教師を育成

「終わり」

○自分の感想



話題の提示とつながるように、津田さんの業績についての自分の考えを付け加えて話そう。



学習指導要領
注目ポイント

話の内容を構成する際は、話の種類や特徴を意識したり、目的に応じて、事実と感想、意見とを区別したりするなどして構成を考えることが大切です。

- 1 上野さんは、「スピーチメモ」を作り、「スピーチ」の練習をしています。業績を明確に伝えるために、上野さんはどのような構成で話していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 事実と感想とを区別できるように、「中」で業績、「終わり」で自分の感想を話している。
 - 2 感想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。
 - 3 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの業績、「中」でもう一つの業績を話している。
 - 4 事実と感想とを関連づけられるように、「中」で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

正答
1

ICTの
有効活用

ICTを活用し、付箋を移動させたり、構成を並べて比較したりすることで調べたことを整理したり、構成を考えたりする手立てにもなります。

正答例

面ファスナーはしっかりとくっつき簡単にはがせることから、物がうかがぶ国際うちゅうステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。

- 四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。
- 〈条件〉
- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
 - 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

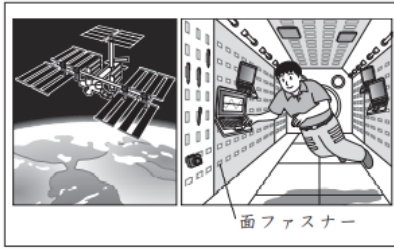
使われ方

短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適していたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになり、医療用や航空機用、かばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き帯やバンドなどの医療用品にも広がっていきました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが適していたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動くつでした。ひもくつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐあいを調節することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

また、しっかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中には無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっているのです。

一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げてきました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。



国際宇宙ステーションとその内部

よさ

読み解く力
再構築



よさ↓国際宇宙ステーションの状況↓使われ方の順序で書きまとめたらわかりやすいな。

②情報を整理する
文章全体の内容を把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることができる。



宇宙では物がうかぶんだ……。なるほど！国際宇宙ステーションの状況もふまえてまとめよう。



どうして？



宇宙では、身の回りの全てのものを固定するために使われているよ。

読み解く力
分析・整理

②情報を整理する
面ファスナーのよさと使われ方についてまとめるために、必要な情報を整理することができる。



よさは、文章全体にいくつか書かれているな。「しっかりとくっつき簡単にはがせる」よさを生かして、宇宙で使われていることを伝えよう。

読み解く力
発見・蓄積

①情報を取り出す
面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめるために、中心となる語や文を見付けることができる。



様々なよさがある面ファスナーは宇宙でも使われるようになったんだ。このことを伝えたいな。面ファスナーのよさと、使われ方についてまとめよう。

読み解く力
目的意識

説明的な文章を読み、分かったことをまとめる(面ファスナー)

出題の趣旨

● 説明的な文章を読んで文章全体の構成を捉え、目的に応じて中心となる語や文を見付けて要約したり、文章と図を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりすることができるかどうかをみる。
身近にある便利なものの仕組みについて、クラス
の友達にリーフレットで紹介しよう!

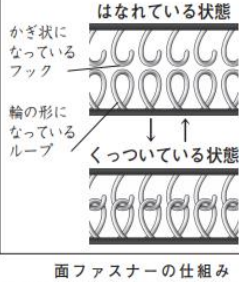
文章

面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができる、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかき状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー(頭をあてる布)の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、

図



面ファスナーの仕組み

三 相川さんは、「資料」の 部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。



相川さん

- ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 「資料」の中の文章と「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。

正答例

メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントにかき状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。

※ 国語科は言語活動を通して指導することを踏まえ、本分析資料では具体的な言語活動を設定していません。



身の回りには様々な便利なものがあるんだな。「面ファスナー」を紹介したいな。

この本には、面ファスナーが開発されたことと、その広がりについて時間の経過にそって書かれているな。面ファスナーのくっつく仕組みを読んでみよう。



① 情報を取り出す
面ファスナーのくっつく仕組みを紹介するために、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができる。



面ファスナーの仕組みについて紹介したいんだけど、この図をどう読んだらいいかわからないんだ。



図の上の文章には、面ファスナーの開発のきっかけについて書かれているけど、この図と関係のあることが書いてあるかもしれないよ。



② 情報を整理し関連付ける
目的に応じて、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにすることができる。



なるほど！文章中の、ゴボウの実の先の曲がったかき状のトゲと、図の、かき状になっているフックが関連している。





ヒントになったことと面ファスナーの仕組みを関連付けて紹介したらわかりやすいね。

小学校 算数

【全体を通して】

- ・ 昨年度の問題と比較すると、大問数と小問数は同じだが、選択式の問題が2問増え、短答式の問題が2問減った。記述式の問題数は同じだった。
- ・ 棒グラフから、数量を読み取る問題や条件に合う時刻を求める問題など、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題が9問出題された。
- ・ 地域めぐりの際、道のりがより短いコースで目的地に行くために、2つのコースの道のりを比較する問題などが出題された。日常生活の事象から問題を見だしその問題を解決するために、場面の状況に応じて、必要な数量やその関係を捉え、図や式などに表したり、結果を適切に導いたりする力が問われた。
- ・ 「5年生と6年生は、他の学年より本を借りていないのではないか」という日常の問題から、貸し出し冊数を調べ整理・分析する問題や、観点を決めてグラフや表に表しデータの特徴や傾向をつかんで結論をまとめる問題などが出題された。身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができる力が問われた。

 付けたい力の
明確化

 学習指導要領
注目ポイント

【読み解く力に関連する問題】

○大問3 統計的な問題解決の方法を用いた考察（図書アンケート）において、

- ・ 棒グラフから、数量を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・ 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・ データを二次元の表に分類整理することができるかどうかをみる。
- ・ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。
- ・ 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができるかどうかをみる。



【指導改善のポイント】

☆事象を数理的に捉えて、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を大切に授業・単元を計画する。

- ・ 日常の事象を数理的に捉えて見いだした問題や、算数の学習場面から見いだした問題を自立的、協働的に解決し、解決した結果を日常生活の課題解決に活用したり、解決の過程や結果を振り返って統合・発展させたりする過程を大切にする。この過程の中で、児童の「考えてみたい」「友だちの考えも聞きたい」「この問題を何とか解決したい」という気持ちを喚起させ、終末には、「解決できてよかった」を実感できるようにする。

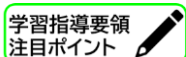
(大問3より)

- 児童の身の回りの事象について、興味・関心や問題意識に基づいた問題を設定する。
- 設定した問題を解決するために、見通しを立て、どのようなデータを、どのように集めるかについて計画を立てる活動を設ける。
- データを集めて分類整理し、目的に応じて、観点を決めてグラフや表に表す活動を設ける。
- 表したデータの特徴や傾向をつかみ、問題に対する結論をまとめる活動を設ける。
- 問題解決の過程において、よりよい解法に洗練させていくための意見の交流や議論などの対話的な学びを取り入れる。

○調査問題の一覧

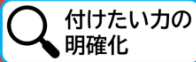
問題番号	問題の概要	出題の意図	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
			A 数と計算	B 量と測定	C 図形	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
①	(1) 二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	1(2) ア(イ) 3(2) ア(イ) ※		2(1) ア(ア)				○				○
	(2) 500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる				5(1) イ(ア) 5(2) イ(ア)			○				○
	(3) ㊶と㊷の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している				5(2) ア(ア)			○				○
	(4) 午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる			3(2) ア(イ)				○				○
	(5) 分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる				5(2) ア(ア)			○				○
②	(1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している		5(3) ア(ア)					○				○
	(2) 直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる		5(3) ア(ア)	1(1) ア(イ)				○				○
	(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる		5(3) ア(ア) ※					○				○
③	(1) 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる					3(1) ア(イ)		○				○
	(2) 学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる					3(1) ア(イ)		○				○
	(3) 「114」は二次元の表のどこに入るか選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる					4(1) ア(ア)		○				○
	(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる					5(1) ア(ア) ※		○				○
	(5) 5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる					5(1) ア(イ) ※		○				○
④	(1) 余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる	3(4) ア(ア) イ(イ)						○				○
	(2) 8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。	4(4) ア(エ)						○				○
	(3) 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	4(4) ア(ア) ※						○				○

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。



出題の趣旨

- 身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データ(1)(2)グラフから、データの特徴や傾向を読み取る。



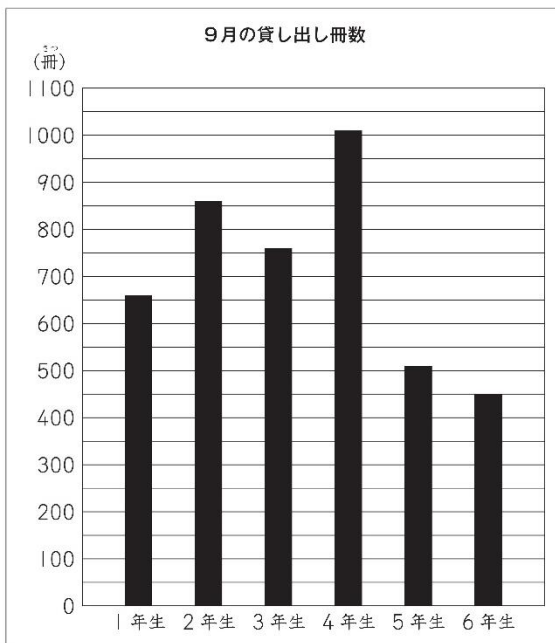
棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることができる。

ひよりさんたちは、10月の図書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。



最近、5年生と6年生は、ほかの学年より本を借りていないのではないですか。

そこで、9月の貸し出し冊数を調べ、下のグラフに表しました。



(1) 左のグラフの、6年生の貸し出し冊数は何冊ですか。

下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 401冊
- イ 405冊
- ウ 410冊
- エ 450冊

正答 (1) エ

(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。

下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。
- イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。
- ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。
- エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

正答 (2) ウ

3 (1)(2)(3)



最近、5年生と6年生は、他の学年より本を借りていないのかな？

5年生、6年生にもっと本を借りてもらえるように、調べてみよう。

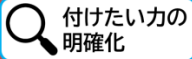


① 必要な情報を確かに取り出す

- ・9月の貸し出し冊数を調べて棒グラフに表し、グラフから分かることを明らかにする。
- ・他の月の貸し出し冊数も調べ、5年生と6年生の貸し出し冊数が他の学年よりも少ないことを明らかにする。

を分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができるかどうかをみる。

(3) データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読んだりする。



データを二次元の表に分類整理することができる。

ほかの月の貸し出し冊数も調べてみると、5年生と6年生の貸し出し冊数は、ほかの学年より少ないことがわかりました。

ひより どうして、5年生と6年生の貸し出し冊数が少ないのでしょうか。

そうた 読書が好きなのが少ないのでしょうか。

そこで、ひよりさんたちは、5年生と6年生の189人にアンケート調査をしました。

(3) まず、読書が好きかどうかについて、図書室で本をよく借りているかどうかについて、2つの質問の結果に着目しました。

質問1 「読書が好きですか」
はい …… 171人
いいえ …… 18人
質問2 「9月に図書室で5冊以上借りましたか」
はい …… 61人
いいえ …… 128人

ひより 読書が好きなのは171人もいるのに、9月に図書室で5冊以上借りた人は61人しかいませんね。

そうた 読書が好きなのに、図書室で本をあまり借りなかった人は何人くらいいるのでしょうか。

2つの質問の結果について、下の表に整理し直すことにしました。

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

「読書が好きですか」に「はい」と答えていて、「9月に図書室で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えている人は、114人いることがわかりました。

「114」は、表のどこにあてはまりますか。① から ⑧ までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

正答 (3) ②



②情報を比較し、関連付けて整理する

- ・5年生、6年生の貸し出し冊数が、他の学年より少ない理由について、「読書が好きなのが他の学年よりも少ない」という予想を立てる。
- ・予想を検証するために、5年生、6年生にアンケートをとり、結果を二次元の表にまとめる。

5年生、6年生は、他の学年よりも図書室で本を借りていないことが分かったよ。でも、「読書が好き」と答えた人は多くいたよ。それなのに、どうして本を借りている人は少ないのかな？もっと調べてみよう。



出題の趣旨

●身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データ(4)帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現する。

付きたい力の明確化

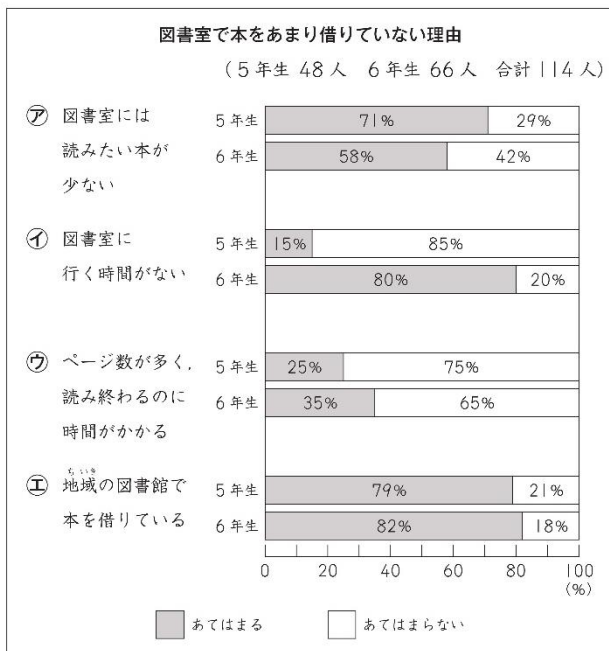
帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できる。

(4) 次に、ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書館で本をあまり借りなかった114人に着目しました。



図書館で本をあまり借りていない理由について、5年生と6年生で、ちがいがいるのでしょうか。

そこで、114人分のアンケート調査の結果を、5年生と6年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、左のグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

そうたさんとあやのさんは、左のグラフの中の⑦から⑤までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

正答 (4)

(例)5年生と6年生で、「当てはまる」と答えた人の割合のちがいが、一番大きい項目は、「① 図書館に行く時間がない」です。5年生が15%で、6年生が80%です。

3 (4) (5)



①必要な情報を確かに取り出す

・図書館であまり本を借りていない理由について、5年生と6年生で違いがあるか、アンケート調査し、その結果を帯グラフで表し、特徴を読み取る。



②情報を比較し、関連付けて整理する

・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述する。



(3)から、「読書が好きですか」に「はい」と答えて、「9月に図書館で5冊以上借りましたか」に「いいえ」と答えた人が114人もいたよ。その理由は何かな？

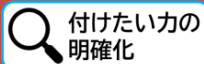


データのいろいろな特ちょうなどをもとにすると、理由を明確にすることができるね。



を分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができるかをみる。

(5) 設定した問題に対して集めるべきデータを判断する。



集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。

(5) ひよりさんたちは、アンケート調査の結果について、話し合っています。



図書室には読みたい本が少ないと思っている人や、地域の図書館で本を借りている人が多いことがわかりました。



図書室でもっと本を借りてもらうために、5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を、学校の図書室に置いてもらうことにしてはどうでしょうか。

そこで、5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を、調べることにしました。

5年生と6年生から、どのようなデータを集めるとよいですか。

下の 1 から 5 までの中から、ふさわしいものを2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 学校の図書室をよく利用している曜日
- 2 学校の図書室に置いてほしい本の題名
- 3 学校の図書室をよく利用している時間帯
- 4 地域の図書館をよく利用している曜日
- 5 地域の図書館で最近借りた本の題名

正答 (5) 2, 5

**ICTの
有効活用**

大量なデータでも、ICTを活用すれば、目的に応じて、いろいろなグラフを簡単に作成できます。

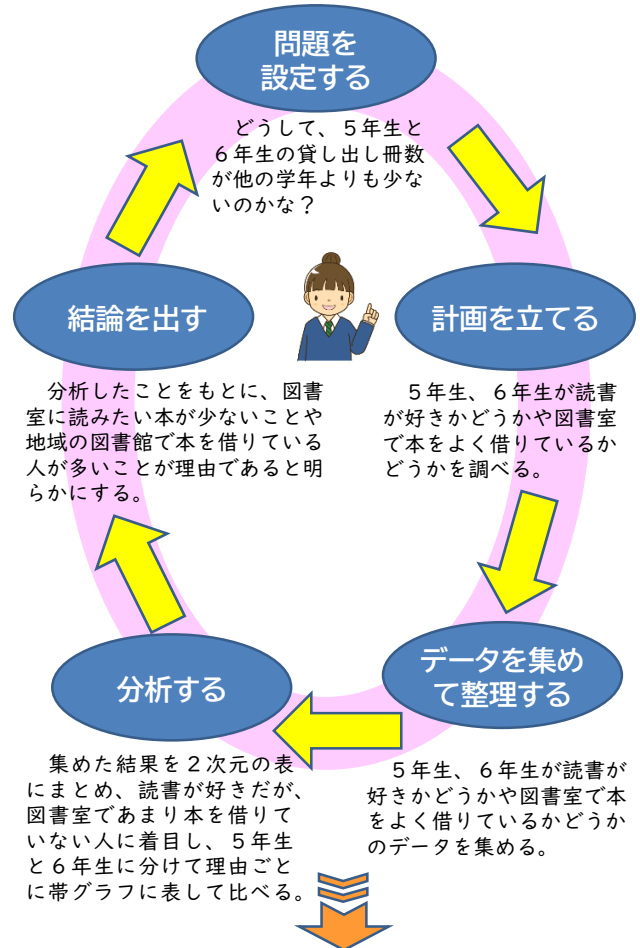


③ 自分なりに解決し、知識を再構築する

・「5年生と6年生の読みたい本」と、「多くの5年生と6年生に読まれている本」を新たに調べるには、どのようなデータが必要かを判断する。

**学習指導要領
注目ポイント**

統計的な問題解決の方法を用いた考察とは・・・



データをもとにして分かったことから、もっと5年生や6年生に図書室で本を借りてもらうように委員会で話し合いをしてみよう。

データを活用して身の回りの問題を解決する例

- ・学校全体の1か月間のけが調べ
- ・ある市のごみの量調べ
- ・長縄8の字大会で練習データからO賞をつくる など
- ★結論を出して終わりではなく、分析したことを生かしたり、分析のしかたを変えたりすることが大切です。
- ★一連の活動を振り返り、データや分析の仕方、結論に問題点や誤りはなかったかどうかを批判的に考察する活動も大切です。

【参考】

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説算数編P.67～




調査の結果から、5年生と6年生があまり図書室で本を借りていない理由がわかりました。さらに、5年生と6年生が読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べて、その本を図書室に置けるように今度の委員会で提案してみよう。

中学校 国語

【全体を通して】

- ・大問は過去2年と同数である。小問については昨年と比べ、記述式の問題が2問増えた。
- ・素材がオンライン会議やSNS、メールに関わるもので、ICTの活用を意識している。また、生徒にとってより身近な素材になった。
- ・「対話の内容を捉え、その後どのようなことを発言するか」「文章の構成の工夫をどのように考えたか」「登場人物の考え方について、どのように考えたか」といった自分の考えを述べる力が問われた。
- ・例年と同様、記述式の問題において、字数制限は設定されていない。
- ・漢字の読み書きについては、平成31年度はなかったが、令和2年度以降、毎回出題されている（令和3年度は2問）。また本年度は敬語についての出題があった。言語に関わる出題の仕方でもメール文と関連付けられており、実際の生活の中で使える知識かどうかが問われた。

 付きたい力の
明確化

【読み解く力に関連する問題】

- 大問1 話合い（複数の中学校の代表が参加し、テレビ会議を行っている場面）において、
 - ・話合いの話題や方向、質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。
 - ・話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。
- 大問2 意見文の下書きを推敲したり、交流したりする場面において、
 - ・文章の構成の工夫を考えることができるかどうかをみる。
- 大問3 文学的な文章（「吾輩は猫である」）と、本のカバーに書かれている紹介を読む場面において、
 - ・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読んだり、登場人物の言動や行動を考え、内容を理解しているかどうかをみる。
 - ・文章に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができているかどうかをみる。



【指導改善のポイント】

- ☆単元でねらいとする資質・能力を育成できる適切な言語活動や学習課題を設定する。
 - 単元を通して問題解決をする言語活動を設定し、解決に向け学習課題を設ける。
 - 生徒にとって身近で、実際の生活の中で体験するような場面を設定したり、素材を選んだりし、生徒が学習に対する必要性を感じることができるようにする。
- ☆自分の考え、そう考える根拠、考え方等を確かにできる学習展開の工夫
 - 学習課題を解決する中で、「なぜそうなるのか」や「どのように考えればよいのか」などについて、自分で考えをもち、それを他者とのやりとりを通して、再度まとめたり、学びを振り返ったりできるように学習を展開する。
- ☆生きて働く知識及び技能を獲得できる授業
 - 言語に関する事項など「知識及び技能」に関する指導事項は、「思考力・判断力・表現力等」と関連付けて活用する場面を設定し、実際に使えるようにする。

○調査問題の一覧

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
			話すこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
①	一 話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1才									○		
	二 話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ									○		
	三 参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向性を捉えて、話す内容を考える	1才					○	○					○
②	一 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く		2エ								○		
	二 意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える		2才				○		○				○
③	一 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア							○		
	二 「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ							○		
	三 「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ							○		○
	四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ			1才				○			○		○
④	① 漢字を読む(伸ばして)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1)ウ(7)						○		○
	② 漢字を読む(詳細)					2(1)ウ(7)						○		○
	二 「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する				1(1)イ(ウ)						○	○	
	三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う				2(1)イ(7)						○		○
四 事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		2ウ					○		○			○	

「(こ)までのあらずじ」 苦沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶臼で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋(人力車を引く人)に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶臼の中で寝ころびながら、いろいろ雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって「下のごとく質問した。」

「おめえはいままに鼠を何びきとったことがある。」

智識は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣にいたってはとうい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときはさすがにきまりがよくはなかった。けれども事実は事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとうとうと思うって、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からびんとつばつていいる長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑った。元来黒は白慢をするだけにどこか足りないところがあつて、彼の氣胸を感じたようにのどをさるころ鳴らして聴聞していわね、はなはだ御しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸のみこんだあ、この場合にも、なまじいおれを護してますます形勢を悪くするの愚である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしやべりお茶をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたろう」と、そそのかして見た。

果敢彼は、塙壁の欠所に嗚喊して来た。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたろう」とは、得意気なる彼の答えであった。彼はなお語をつけて、「鼠の首や百は一人でもいづつでも引き受けるが、いたちつてえやつは手に合ねえ。一度、いたちに向かつて、ひどい目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石炭の袋を持って緑の下へはいこんだら、おめえ、大きないたちの野郎がめんくらつて飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたちつてけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしょうつて氣で追つかけて、とうとうお茶の中へ追いこんだと思ひねえ。」

「うまくやつたね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段にたつと、やつめ最後つ尻をこきやがつた。くせえのくさくねえのつて、それからつえものはいたちを見たと胸が悪くならあ。」

彼はここにいたつて、あたかも去年の災氣を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんまでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景氣をつけてやろうと思つて、

「しかし鼠なら、君ににらまれては百年日だらう。君はあまり鼠をとるが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにふつて色つやがいいのだらう。」

黒のこきげんをとるためのこの質問は、ふしきにも反対の結果を呈出した。彼は嗚然として大息を吐いていう。

「考げえるとつたらねえ、いざつて鼠をとつたつて、いつてえ人間ほどつてえやつは世の命にいねえ。人のとつた鼠をみんな取りあげやがつて、交番へ持つてゆきあが。交番じゃ、だれがとつたかわからねえから、そのおんびに五錢ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかげでも、四五十錢くらいもうけていやがるくせに、ろくきものを食わせたこともありやしねえ。おい、人間でもあ体のいい泥棒だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらしい理屈はわかるとみえて、すこぶるおこつたようすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々氣味が悪くなったから、いかげんにその場をこまかして、うちへ帰つた。

このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の半分になつて鼠以外のごちそうをあさる家あるくこともしなかつた。ごちそうを食うよりも寝ていたほうが氣來でいい。

(鼠口撫石「吾輩は猫である」上)による。

読み解く力 **分析・整理**

読み解く力 **分析・整理**

読み解く力 **発見・蓄積**

①文章から目的に応じて情報を取り出す。

②情報を比較し、目的に応じて分析・整理をする。

- ・「吾輩」が「黒」を評価している描写を見つめる。
- ・「吾輩」の「黒」に対する接し方をとらえる。
- ・他者の考えと比較し、自分の考えを広げたり深めたりする。

「はなはだ御しやすい猫」と評価しているけど、どうして「黒」を扱いやすいと思つているんだらう。

「智識は黒よりもよほど発達しているつもり」という描写から「吾輩」は「黒」よりも頭がよいと思つているよね。

「元来黒は白慢をするだけにどこか足りないところがあつて」というところからも、「黒」のことを少し見下している感じがするね。

だから「はなはだ御しやすい猫」と思つているんだ。

「腕力と勇氣にいたつてはとうい黒の比較にはならない」というところからは、「吾輩」は「黒」のことを認めていることが読み取れるよ。

「黒」には、力や勇氣の面では、かなわないと考えていることが分かるね。

なるほど。だから「黒」の言つたことに拍手喝采して、機嫌を損ねないようにしているんだね。

確かに「黒のこきげんをとる」つて書いてあるね。



その中から選んで、自分の考えを述べるといいよ。

見つけた描写に注目すると「吾輩」の「黒」に対する接し方が分かるね。

「吾輩」が「黒」について評価している描写を見つけたらいいんじゃないかな。

難しそうな文章だな。
どうやって自分の考えをもったらいいんだろう？

自分の好きな小説に出てくる登場人物の方や考え方について、自分の考えを伝えることが単元の目標だな。
そのためにも、「吾輩は猫である」の一部分を読んで、「吾輩」の方や考え方として、「黒」をどのように評価し、どのように接しているかを捉え、自分の考えをもつ学習に取り組むんだね。

②今までに読んだ小説の中から一つ選び、登場人物の方や考え方に対する考えを伝え合う。

①「吾輩は猫である」の一部分を読み、「吾輩」の方や考え方として、「黒」をどのように評価し、どのように接しているかを捉え、考えを伝え合う。

【言語活動】

今までに読んだ小説の中から好きな作品を選び、登場人物の方や考え方に対する考えを伝え合う。

【学習の流れ】



読解力
目的意識

○学習の目的を理解し、見通しをもつ。

四 「紹介」に「線部」様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。
条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。
条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

学習指導要領 注目ポイント


- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。
- （「読むこと」第一学年 才）
- ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方、出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。
- （「情報の扱い方に関する事項」第一学年 イ）

出題の趣旨


文章に表れているものの方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。（第一学年「読むこと」才）

3-1(4) 文学的な文章を読む(「吾輩は猫である」)


※ 国語科は言語活動を通して指導することを踏まえ、本分析資料では具体的な言語活動を設定しています。



引用するときは、どうすればよかったかな。



文章の中の必要な部分をそのまま抜き出して、引用した部分をかぎ(「」)でくくる決まりがあったよね。



交流した内容を踏まえて、もう一度、自分の考えを書こう。


【自分の考え】

「吾輩」は「黒」を「はなはだ御しやすい猫」と評価しているが、自分よりも強い「黒」に対して、ご機嫌をとっている。この「吾輩」の接し方は、人間らしくて共感できる。


正答例

- ・「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私はこのような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。
- ・「腕力と勇氣とにいたってはとうてい黒の比較にはならない」と書かれていて、黒に敬意をもって接していることが分かります。相手の悪い面だけでなく、よい面にも目を向けることは大切なことだと思います。
- ・「元来黒は自慢をするだけにどこか足りないところがあって」と相手を見下すような接し方をしている、あまりよい気持ちがない。

○単元を通しての学びを振り返る。



複数の描写に注目することで、「吾輩」の見方や考え方を捉えることができました。いろいろな描写に注目して読むことの大切さを学びました。



文学作品は難しいという印象だったけれど、読めば読むほど、今の私たちにもつながることが見つかりました。「吾輩は猫である」の他の部分も読んでみようと思います。



③ 解釈した内容を、知識や経験と結び付けて深めたり、創造したりする。

- ・ 「吾輩」の接し方について、知識や経験と結び付けて自分の考えをもつ。
- ・ やりとりを通して、他者の考えを踏まえながら、自分の考えをより確かにする。

【自分の考え】 「はなはだ御しやすい猫」と評価しているが、自分よりも強い「黒」に対して、ご機嫌をとっている。この「吾輩」の接し方は、とてもおもしろいと思う。

これでいいかな。もっと適切な表現はないかな。

私は、「腕力と勇気にいたってはとうてい黒の比較にはならない」というところから、「吾輩」は「黒」に敬意をもって接していることが分かります。『黒』に対して苦手意識をもっているにもかかわらず、よい面にも目を向けている『吾輩』の考え方はとても大切なことだと考えました。」と書いたよ。

私もそう思う。悪いところだけでなく、よいところに目を向けることはとても大切だね。

僕は、「『はなはだ御しやすい猫』と評価しているが、自分よりも強い『黒』に対して、ご機嫌をとっている。この『吾輩』の接し方は、とてもおもしろいと思う。」とまとめたんだけど、最後の「おもしろい」という表現を、もっと具体的にしたいんだ。どうしたらいいかな？

どうして、おもしろいと考えたの。

力の強い人に対してご機嫌をとる接し方は、僕たち人間のことを言っているなと思ったから。

そうだね。共感できる部分もあるよね。

「おもしろい」と考えた理由を書けば、具体的になるぞ。

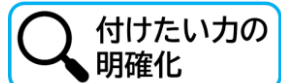
ICTの
有効活用

1人1台端末を活用すると、全員の考えを一覧で共有し、交流したい人を生徒自身が選ぶことができます。

中学校 数学

【全体を通して】

- ・昨年度と比較すると、小問数は1問増えた。選択式の問題が3問減り、短答式と記述式の問題がそれぞれ3問、1問増えた。
- ・問題の前半に扇形の弧の長さを求める問題や与えられたデータから中央値を求める問題など、基本的な知識・技能を問う問題が5問出題された。
- ・砂がすべて落ちきるまでの時間が120秒になる砂の重さを求めるために、「用いるもの」を明確にした上で、その「用い方」を数学的に説明する問題や、2種類の三角定規を組み合わせることができる四角形について、ある条件の下でいつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する問題などが出題された。身近な話題を題材にした問題を通して、事象を数学的に解釈し、数学的に説明したり、表現したりする力が問われた。



【読み解く力に関連する問題】

- 大問6 事象（自然数を5つずつに区切った表）を数学的に考察する場面において、
- ・四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書くことができるかどうかをみる。
 - ・四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であることを説明することができるかどうかをみる。
- 大問9 図形の性質を考察する場面（2つの三角定規を組み合わせることができる四角形）において、
- ・四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になる条件を用いて説明することができるかどうかをみる。
 - ・ $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさにおいて、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に説明することができるかどうかをみる。



【指導改善のポイント】

- ☆数学的活動の楽しさを実感できる（数や図形に親しむ）授業・単元を計画する。
- ・事象を理想化したり抽象化したりして、事象に潜む法則を見つけたり、操作、実験などによって数や図形の性質を見だし、見いだした性質を発展させたりする活動などの機会を設ける。その過程で様々な工夫、驚き、感動や考えることの楽しさを味わえるようにする。
- （大問6より）
- 成り立つ事柄を生徒自ら見いだすことができるように、具体的な数で計算する場面を設定する。
 - 見いだした事柄について確かめ、事柄が成り立つ理由を検討する機会を設ける。
 - 数に対する理解を深めることができるように、生徒が見いだした事柄を解釈し、説明する場面を設定する。
- （大問9より）
- 観察、操作や実験などを通して、平行線や角の性質を理解する機会を設ける。
 - 図形の性質や平行線の性質に基づいて、図形の性質が成り立つ理由を検討する場面を設定する。
 - 条件を変えることで、新たな問題の発見を生徒に促し、見いだした事柄を説明する等の活動を設ける。

問題番号	問題の概要	出題の意図	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式							
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式					
①	$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア															
②	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくらることができる	1(3)ウ															
③	中心角 60° の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している		1(2)ウ														
④	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			1(1)ア													
⑤	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる				1(1)ア												
⑥	(1) 四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1)イ,ウ															
	(2) 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ,ウ															
	(3) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2(1)イ,ウ															
⑦	(1) 与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1)ウ													
	(2) 与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1)エ,オ													
⑧	(1) 気温差が 9°C 以上 12°C 未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる				1(1)ア												
	(2) 2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している				1(1)ア												
	(3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1(1)イ												
⑨	(1) 四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になること理由を説明することができる			2(2)イ,ウ													
	(2) 錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している			2(1)ア													
	(3) $\angle\text{ARG}$ や $\angle\text{ASG}$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる			2(1)ア													

9 平行線や角の性質を基に、図形を考察すること(三角定規)

出題の趣旨

- 図形の性質を考察する場面において、次のことがいえるかどうかをみる。
(1) 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形ABCEが平行四辺形になることの理由を説明する。

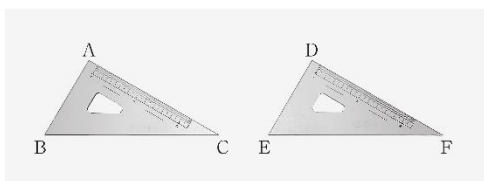
🔍 付けたい力の明確化

証明の根拠を明確にして、論理的に考察することができる。

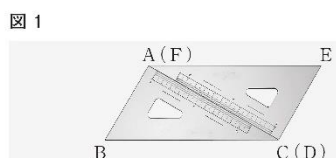
- 9 30°, 60°, 90°の同じ三角定規を2つ用意し、それぞれ△ABC, △DEFとします。直輝さんと由衣さんは、この2つの三角定規を組み合わせてできる四角形について考えることにしました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

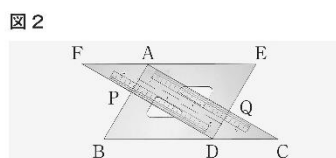
- (1) 二人は、前ページの図1の四角形ABCEが平行四辺形になると予想し、予想が成り立つことを示すために、次の図4をかきました。



二人は、2つの三角定規を右の図1のように、点Aと点F、点Cと点Dが重なるように並べました。このとき、四角形ABCEができます。



次に、図2のように、点Dが辺BC上にあり、辺EFが辺BCと平行になるように、△DEFを△ABCに重ねました。辺ABと辺FD、辺EDと辺ACの交点をそれぞれ点P、Qとすると、四角形APDQができます。



そして、図3のように、点Dが辺BC上にあり、辺EFが辺BCと平行になるように、△DEFを左に動かしました。

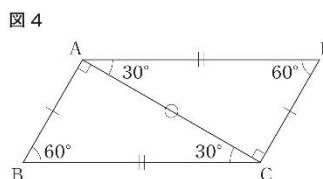
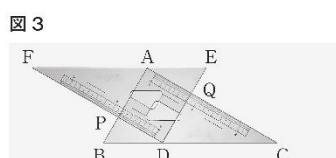


図4において、△ABCと△CEAは合同なので、対応する辺の長さや角の大きさが等しいことがわかります。

このことから、四角形ABCEが平行四辺形になることは、平行四辺形になるための条件を用いて説明できます。下のア、イのどちらかを選び、選んだ条件を用いて説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

イ 2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

正答

(1)(例) ア を選択して

説明 AB=CE ……①

BC=EA ……②

①, ②より、2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

9 (1)



① 必要な情報を確かに取り出す

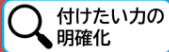
・三角形や平行四辺形の基本的な性質を基にして、命題の「仮定」と「結論」をはっきりさせる。

・2つの三角定規が重なった四角形が平行四辺形になるための条件にあった2組の辺や角を見つける。



平行四辺形の性質は2つの三角形が合同であることを基に演繹的に導くことができるね。

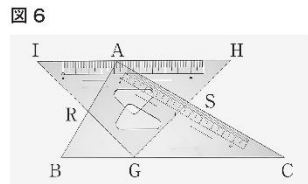
(3) 左に動かす三角定規を、斜辺を底辺としたときの高さが△ABCと等しい45°、45°、90°の三角定規に変えて、重なった四角形ARGSの∠ARG、∠ASGの大きさについて、いつでもいえることを答える。



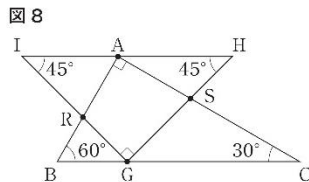
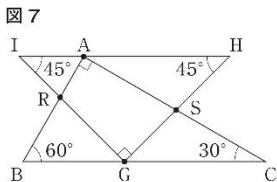
ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、説明することができる。

(3) 二人は、左に動かす三角定規を、斜辺を底辺としたときの高さが△ABCと等しい45°、45°、90°の三角定規に変えて、重なったところにある四角形について考えることにしました。

右の図6のように、45°、45°、90°の三角定規を△GHIとし、辺ABと辺IG、辺HGと辺ACの交点をそれぞれ点R、Sとすると、四角形ARGSができます。



点Gが辺BC上にあり、辺HIが辺BCと平行になるように、△GHIを左に動かしたとき、二人は、四角形ARGSが長方形にならないと考え、次のような図7、図8をかきました。



二人は、図7、図8で、四角形ARGSが長方形にならないことから、四角形ARGSがどんな四角形になるか話し合っています。

直輝さん「△GHIを動かすと四角形ARGSの4つの辺の長さはそれぞれ長くなったり短くなったりするよ。角の大きさはどうなるかな。」

由衣さん「∠RASと∠RGSの大きさはそれぞれ90°で変わらないね。∠ARGと∠ASGの大きさはどうかな。」

△GHIを動かしても、四角形ARGSの∠ARGと∠ASGの和はいつでも180°になります。このほかに、∠ARG、∠ASGの大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。

正答

(3)
(例) ∠ARG、∠ASGのそれぞれの大きさは変わらない。

ICTの
有効活用

1人1台端末を使って、生徒自身が図形を動的に変化させることで、図形についての感覚を豊かにすることができます。

9 (3)



①必要な情報を探し、確認する

・△GHIを動かすことで、四角形ARGSの4つの辺はそれぞれの長さが変わることで、一方で∠RASと∠RGSの大きさは90°で変わらないことがわかる。

②情報を比較し、関連付けて整理する

・図7と図8を比較し、平行線や角の性質から∠ARGと∠ASGのそれぞれの大きさについて考える。

③自分なりに解決し、知識を再構築する

・△GHIを動かすことで、四角形ARGSの4つの辺は、それぞれの長さは変わるが、4つの角それぞれの大きさが変わらないことを数学的に説明する。



△GHIを動かすことで、四角形ARGSの4つの辺の長さや4つの角の大きさが変わることで、変わらないことを考えてみましょう。



平行線や角の性質から、∠ARGは何度になるといえるか調べてみましょう。

他に調べてみたいことはありませんか。



2直線が平行関係だと、平行線の性質や三角形の内角と外角の関係を利用することで、いろいろな角度が求められるね。



高さが等しく、合同でない2つの三角形の場合、どちらかの三角形をこの問題のように動かすと、四角形ARGSの辺の長さや角の大きさはどうなるのかな。

児童生徒質問紙


○全体を通して

〔質問数〕 小学校：69項目（昨年度より2問減）
 中学校：69項目（昨年度より2問減）

〔特記事項〕

- ・質問数は小中学校ともに69問で、どちらも同じ内容に関する質問項目であった。
- ・小中学校ともに去年（令和2年）4～5月頃（新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休業していた時期）に関する質問項目が4問加えられた。
- ・これまでに受けた授業に関する質問項目について、新たな質問項目が加えられたり、質問の文言が一部変更されたりした。

○今年度新たに加えられた項目

R3番号		質問項目
小学校	中学校	
挑戦心, 達成感, 規範意識, 自己有用感等について		
8		自分でやると決めたことは, やり遂げるようにしている
14		自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる
15		自分と違う意見について考えるのは楽しい
16		友達と協力するのは楽しい
学習習慣等について		
22		あなたの家には, およそどれくらいの本がありますか。(雑誌, 新聞, 教科書は除きます。)
ICTを活用した学習状況について		
27		あなたは学校で, コンピュータなどのICT機器を, 他の友達〔生徒〕と意見を交換したり, 調べたりするために, どの程度使用していますか。
28		学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
家庭での言語環境について		
30		あなたは, 家でどれくらい日本語を話しますか。
「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に関する取組状況について		
学習指導要領 注目ポイント 		
34		授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめたり, 思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた
35		授業は, 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていた
38		学習した内容について, 分かった点や, よく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげることができていますか。

去年(令和2年)の4～5月ごろ(新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた時期)のことを尋ねる質問	
64	勉強について不安を感じた
65	計画的に学習を続けることができた
66	規則正しい生活を送っていた
67	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。

○令和2年度から文言が変更された項目(※下線部は変更箇所)

R3番号		質問項目
小学校	中学校	
4		携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
18		学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。)
19		土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。)
20		学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。(インターネットを通じて教わっている場合も含まれます。)*1
31		学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか。
59		算数〔数学〕の授業で問題の解き方や考え方が分かるように <u>手紙やノート</u> に書いて <u>理解するようにしていますか。*</u> 2
63	*3	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)

*1 令和2年度は、「学習塾(家庭教師の先生に教わっている場合も含まれます。)で勉強をしていますか。」であった。

*2 令和2年度から削除された箇所を見え消しとした。

*3 中学校については令和2年度から変更なし。文言は以下のとおり。「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)」

学校質問紙

○全体を通して

- 〔質問数〕 小学校：102 問（昨年度より 27 問増）
 中学校：102 問（昨年度より 27 問増）
 ※小中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響に関する
 質問項目 11 問を含む。

〔特記事項〕

- ・ 質問数は小中学校ともに 102 問で、どちらも同じ内容に関する質問項目であった。
- ・ 小中学校ともに新型コロナウイルス感染症の影響を調査するための質問項目が 11 問加えられた。
- ・ よりよい学校運営に関する質問項目が新たに 4 問、ICT を活用した学習状況に関する質問項目が新たに 12 問加えられた。
- ・ 昨年度と同様、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に関する質問項目が 12 問尋ねられた。

質問項目の種類	項目数		新たに追加あり
	R3		
	小学校	中学校	
○ 新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目	11	11	☆
○ 学校規模等	6	6	
○ 生徒指導等	5	5	
○ 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況	17	17	☆
○ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	12	12	
○ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法	4	4	
○ 学習評価	4	4	☆
○ 国語科の指導方法	6	6	
○ 算数〔数学〕科の指導方法	6	6	
○ 英語の指導方法	2	2	
○ ICT を活用した学習状況	13	13	☆
○ 特別支援教育	1	1	
○ 小学校教育と中学校教育の連携	3	3	
○ 家庭や地域との連携等	5	5	
○ 家庭学習	3	3	
○ 調査結果の活用	4	4	☆
合 計	102	102	

○今年度新たに加えられた項目

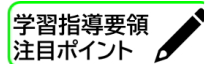
R3番号		質問項目
小学校	中学校	
新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目		
I	令和2年4月以降の新型コロナウイルス感染症の影響による地域一斉の学校の臨時休業等（短縮授業・分散登校を含み、春季休業を含まない。また、学校全面再開後に感染者が発生したなどの理由により個別に行われた臨時休業等は含まない。）について、以下に当てはまる期間及び日数をお答えください。（臨時休業が2期間にわたって行われていた場合には最も長い臨時休業等についてお答えください。）	
II	Iでお答えいただいた期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか。	
III	Iでお答えいただいた期間のうち学校の全部を休業していた期間中の調査対象児童〔生徒〕の学習状況や生活状況について、どのような手段で把握していましたか。	
IV	Iでお答えいただいた期間のうち学校の全部を休業していた期間中、ICT環境がない家庭の児童〔生徒〕に対して何らかの支援（配慮）を行っていましたか。	
V	Iでお答えいただいた期間のうち学校の全部を休業していた期間中の家庭学習におけるICT活用について、あなたの学校にはどのような課題がありましたか。	
VI	Iでお答えいただいた期間のうち学校の全部を休業していた期間が終了した以降に当該休業への対応として以下のことを行いましたか。	
新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在（令和3年5月）とを比較して、以下のような変化があったと思いますか。		
VII	児童〔生徒〕同士の関係	
VIII	児童〔生徒〕と教員の関係	
IX	教員と保護者の関係	
X	教員の業務量	
XI	児童〔生徒〕からの相談内容	
学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況		
12	校長として、現在、最も学びたいと感じていることを1つ選んでください。	
13	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか。	
14	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか。	
15	学校として、必要な場合に、変化に柔軟に対応していますか。	
学習評価		
45	児童〔生徒〕の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かすことを心がけた	

ICTを活用した学習状況

コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、次のことを行うための準備ができていますか。

63 64 65	授業（授業準備も含む） 遠隔・オンライン授業 校務改善
67	教員は、学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを、児童生徒の状況に応じた指導に活用していますか。
68	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会
69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制
あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか。	
70 71 72 73 74	教職員間の連絡 教職員と児童〔生徒〕がやりとりする場面 児童〔生徒〕同士がやりとりする場面 教職員と家庭との連絡 児童〔生徒〕が1人で活用する場面
75	あなたの学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。
調査結果の活用	
88	全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか。
90	全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか。

○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に関する項目



R3番号		質 問 項 目	令和2年度 *4
小学校	中学校		
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕は、次の事項にどの程度当てはまりますか。			
30		児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている	☆
31		児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている	☆
32		児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	☆
33		児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができている	☆
調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導に関して、前年度までに、次のことをどの程度行いましたか。			
34		授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた	☆
35		児童〔生徒〕の発言や活動の時間を確保して授業を進めた	☆
36		習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	
37		各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	
38		知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れた	☆
39		【小学校】各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字（400字詰め原稿用紙2枚）程度で児童にまとめさせたことがあった 【中学校】各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを1,200字（400字詰め原稿用紙3枚）程度で生徒にまとめさせたことがあった	☆
40		調査対象である第6学年の児童〔第3学年の生徒〕に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。	☆

*4 令和2年度にも尋ねられた項目に☆を付した。